

# 広報 しばた



## 新しい年への明るい光

台風19号で大きな被害を受けた阿武隈急行が12月6日(金)、  
槻木駅から丸森駅までの運行を再開しました。  
通勤、通学に欠かせない「あぶ急」の再開に喜びの声が多く聞かれました。  
今年の干支、子(ねずみ)年は、繁栄の年と言われています。  
町が災害から復興へ前進し、繁栄する一年に、  
そして、皆さんにとって、明るい希望に満ちた一年になりますように。

# 2020年 新年のごあいさつ

—— 歩いて暮らせる  
コンパクトな  
環境創造都市の  
実現を目指して ——



柴田町長 滝口 茂

新年あけましておめでと  
うございます。

今年はいよいよ東京オリ  
ンピック・パラリンピック  
が開催されます。昭和39年  
私が中学生の時に見た東京  
オリンピックの感動シーンを  
再び味わえるかと思うと、  
ワクワク感が膨らんできま  
す。日本人のメダルラッ  
シュを期待するのはもちろ  
んですが、今回は特にこの  
3年間ホストタウンとして  
交流を重ねてきた、ベラ  
ルーシ共和国新体操ナショ  
ナルチームの皆さんの活躍  
も楽しみであり、メダルが  
獲得できるよう精一杯応援  
したいと思っています。

さて、今年の景気の動向  
ですが、8月まではオリ  
ンピック景気に沸くものの、  
東京オリンピック・パラリ  
ンピックが終わった後の將  
来予測は、明暗が分かれて  
います。

まず、明るいシナリオは、  
たとえオリンピックが終  
わったとしても、少なくと

も2030年までは、今以  
上に東京は発展し続けてい  
くという予測です。その理  
由は、東京で進行する超高  
層ビルの開発プロジェクト  
や2027年のリニア中央  
新幹線の開業などを控えて  
いるからです。

さらに、国はIoTやA  
I、ドローン、ロボットな  
どの最新のテクノロジの  
活用によって、一人一人が  
快適に暮らせる社会の実現  
を目指したソサエティ5・  
0(超スマート社会)をわ  
が国の未来社会の姿として  
提唱しています。

一方、暗いシナリオとし  
ては、オリンピックが終わ  
った途端、ほとんどの観光  
客が帰ってしまうので、景  
気が一気に冷え込んでしま  
うことが懸念されています。  
また、若い世代の雇用や  
生活が不安定化しているた  
め、そのことが未婚や晩婚  
化の背景となり、2019  
年の出生数が87万人を下回  
る見込みとなっています。

このようにわが国の人口減  
少に歯止めがかからない現  
実があります。特に地方に  
おいては、人口減少や高齢  
化が深刻化し、さらに地域  
経済の低迷もあって瀕死の  
状態にあります。

## 自治体SDGsの 推進

そうした二つの潮流が混  
在するわが国ですが、一方、  
世界に目を転ずれば、持続  
可能な世界の実現を目指し、  
世界共通の目標としてSD  
Gs(持続可能な開発目標)  
が提唱されました。203  
0年までに、先進国も発展  
途上国も、国も企業もNP  
Oも、そして個人も、あら  
ゆる垣根を乗り越えて、よ  
り良い未来をつくろうと国  
連サミットで採択された17  
個の目標(ゴール)のこと  
です。地球環境時代におけ  
るグローバルなレベルや国  
レベル、そして地方レベル  
における倫理規範が示され  
ています。

地方自治体においても、住民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化に向け、住民、事業者、行政が一体となって取り組む、自治体SDGsの推進が求められています。

## これまでの 地方創生等の成果

柴田町においても、平成27年に「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、持続可能なまちづくりにチャレンジしてきました。

柴田町民のアイデンティティである白石川堤一目千本桜や船岡城址公園を世界に開かれた花見の名所にするべく、国内外への情報発信とプロモーション活動を展開してきた結果、昨年の桜まつりにおいて、東南アジアはもとより、ヨーロッパ各国から7,600人を超える外国人観光客が訪れました。

今年、特にタイ国際航

空の機内誌の表紙に桜のトネルを走るスロープカーが掲載されたことや、大手旅行会社がさくらマラソンを走るツアーを企画し、タイ人に向けて募集を始めていますので、桜まつりが昨年以上に盛り上がるものと期待しています。

さらに、これまで国のお金を有効に活用しながら、観光まちづくりを進めてきたことで、柴田町の知名度が一段と高まり、柴田町を応援する「ふるさと納税」が、昨年12月10日現在で約3億円となっており、平成30年度の一年間に寄附を受けた総額2億344万円をすでに超えております。

## 新たな時代における まちづくり

こうした勢いを新年度から始まる第2期目の「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に生かすよう計画を策定してまいります。策定にあたっては、SDGs

やソサエティ5.0、外国人との多文化共生社会といった新たな時代の流れを踏まえた上で、地方が持つ豊かな自然や美しい景観、住みやすさといった地方で生活するメリットと、大都市の利便性や流行の文化や芸術に触れられる機会の多さといった双方の魅力を受受できるまちづくりを目指していきたいと思えます。

また、令和2年度中に柴田町の未来の都市像を示す、歩いて暮らせるコンパクトな環境創造都市を目指す都市のマスタープランを策定してまいります。

## 安全、安心に 住み続けられる まちづくり

環境創造都市の基盤となるのが、誰もが安全安心に住み続けられるまちづくりです。

昨年の10月12日から13日に通過した台風19号がもたらしたような短時間で記録





的な豪雨は、地球の温暖化による異常気象によって、今後も頻繁に発生することを見逃さなければなりません。もはや、これまでの経験はもとより、堤防、排水機場などの施設、いわゆるハード面を整備しても、災害を防ぐには限界があることを私たちは知る必要があります。

今後の気候変動による被害に対しては、「自分の命は自分で守るといった意識を持って、自発的に避難行動を取ることが大切であり、行政は、それを全力で支援する」といった水防災意識の向上を図ってまいります。

### 新たな生活拠点の整備

安全に住み続けられるまちをベースに、都市の環境と都市空間を計画的にデザインするのが、立地適正化計画です。

その計画の中核をなすのが、東船岡駅にアクセスす

きるエリアに、新たな生活拠点を整備する構想です。

このエリアにはすでに居住施設、商業施設や医療・福祉施設が立地しており、さらに、新たな金融機関の誘致やスポーツ交流施設としての総合体育館などの都市機能を充実させ、公共交通との一体化を図る中で、コンパクトプラスネットワーク型の新市街地を形成してまいります。

なお、総合体育館につきましては、新年度、自衛隊に造成工事を行っていたべくよう調整しているところです。

### 観光まちづくりのステップアップ

こうした新たな街並みを形成する中で、多くの人が行き交い、にぎわいと活気のあるまちに育てていくためには、観光まちづくりをさらに推進していく必要があります。

国や県では、観光を21世

紀の基幹産業として位置づけ、積極的に政策を展開しています。また、全国の自治体においても、地方創生戦略の柱として、観光まちづくりにしのぎを削っています。特に、先進自治体においては、観光まちづくりの中で若い人たちが起業し、定住に結びつく事例も増えています。

柴田町においても、さらなる観光まちづくりのステップアップに取り組むことで、魅力的な地域の再発見や地域への愛着や誇りの醸成、若者の吸引力の強化につなげ、強いては、一般財源の確保による住民生活の環境改善を図ってまいります。

### 大変革時代での自治体のあり方

人が集まれば仕事が生まれ、地域が活性化します。

こうした自立的な好循環を形成していくためには、やはり、自治体のイノベ





ションが欠かせません。

大変革時代を迎えた中で、今後の自治体のあり方や職員の意味の変革を示したのが、総務省の研究会在がまとめた「自治体戦略2040構想」です。その柱の一つになっているのが、「スマート自治体」です。高齢者の人口がピークを迎える2040年頃をターゲットに、AIやIoT、ビッグデータを使いこなし、従来の半分の職員で自治体の機能を担っていかうというものです。

また、各自治体がフルセットで公共施設を持つのではなく、圏域単位で行政をスタンダードにする「圏域マネジメント論」も提唱されました。その根底にあるのが、少子高齢化や人口減少問題や日常生活圏の拡大に伴って起こるさまざまな地域課題に対しては、自治体の経営規模の拡大や広域連携による業務の効率化や合理化を図る中で対応す

べきだという考え方です。

しかし、日々住民の暮らしに関わっていますと、住民の困りごとや要望は多種多様であり、役所の仕事のおおかたは、非効率で手間のかかる場合が多いのです。コストパフォーマンスが優先する市場原理だけで割り切れないのが、役所の仕事なのです。

今後、さらに家庭や地域コミュニティの機能が弱体化していけば、最後に住民のお世話をする役割を担うのは自治体の職員ではないのかと思っています。

経済第一主義、効率主義優先から脱却し、人と人とのつながりや助け合い、ボランティア活動といった目に見えない相互扶助を大切にする社会づくりこそ、2040年問題の解決策ではないかと思えます。

自治体は今、未来を切り開く最前線におり、また、職員は地域づくりのプロフェッショナルとして、町

民の最先端を走らなければならない時代ですので、研修などによって職員力を高め、自治体の仕事を変えてまいります。

今後とも、行政、住民、企業、NPO団体などとの連携を強化し、地域内での資金の循環や再投資を活発にしながら、自立的な好循環の流れをつくり、明るい柴田町の未来を切り開いてまいります。

今年も時代の流れを先読みし、政策力に磨きをかけながら、果敢にチャレンジしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# 新年を迎えて

## 町民の皆さんの 2020年の抱負



ひらま れいこ  
**平間 礼子**さん  
子育てサポーターすきつぱ代表  
(下名生地区 59歳)

私たち子育てサポーターすきつぱは、個性豊かな17名で活動しています。子育てまなびサークル「さくらんぼう」や自主サークル、教育委員会が行う家庭教育支援活動への支援などの活動

をしています。昨年11月にはその活動が認められ、宮城県の教育功績者表彰をいただきました。これも平成16年から土台を築きあげてきた先輩方、こどもセンターの先生方、そしてメンバーのご家族の理解があつてこそと一同感謝しています。今年もサポーター同士協力し合い、元気な笑顔とハートを忘れず楽しく活動していきたいと思



おおた よしき  
**太田 頼暉**さん  
柴田高等学校3年  
(船岡地区 18歳)

昨年は、全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会73kg級で第3位、インターハイ競技73kg級でも第3位となり、高校から始めたウエイトリフティング競技の中では、最高の成績を収められたとても素

晴らしい年になりました。しかし、私の中ではまだ体づくりの補強が足りないと感じています。

今年は、4月から関西の大学に進学するので、練習についていけるよう、また、1年生だからといって練習を怠ることなく、全日本大学選手権や全日本ジュニア選手権などの全国レベルの大会に出ることを目標にがんばります。



みづと ふぢさん  
**水戸 ふぢ**さん  
オカリナ奏者  
(下名生地区 74歳)

12年ほど前からオカリナを始め、昨年は11月に福岡市で行われた全国大会「第1回煌めけ！オカリナコンクール」のシニアソロ部門で優勝することができました。コンクール直前に、台風19号で自宅が床上浸水の被害を受け、片付けに追われる日々でしたが、常に前に進む人間なので、出場を断念することなど考えませんでした。

これからも挑戦し続けたいと思っているので、今年は、目標であり、夢でもある国際コンクール出場に向けてがんばりたいです。また、自分の演奏で喜んでくれる人がいる限り、音色を届けていきたいと思



やました としいち  
**山下 利一**さん  
とみざわ希望の光イルミネーション  
実行委員会代表(富沢地区 59歳)

台風19号による災害で、イルミネーションを実施するかどうか原点に戻り検討しました。「この地区を明るく元気にしたい」、「小さな集落だけど力を合わせて、いろいろな問題を乗り越えていこう」、「この光が続く限り安心して暮らしてください」、「震災で被災された方に元気になってもらいたい」などの思いが募り、始めた“希望の光”。だからこそ今回も光を灯すと決めました。

今後もこのような災害が起こるかもしれませんが、夢や希望をなくさず、皆さんと力を合わせれば乗り越えられると思います。今年もこれからもこの希望の光は続けていくので、ぜひ見に来てください。



たかはし みさこ  
**高橋 実沙子**さん  
パン教室主宰  
(上名生地区 36歳)

私は、2014年に柴田町に引っ越してきました。2016年から自宅でパン教室を始め、さまざまなご縁を頂戴し、たくさんの笑顔があふれるパン教室になりました。家族の理解とサポートにも感謝しています。

現在は、育児のため休業していますが、このような環境の変化に順応しながら、今年は再開に向けた準備だけでなく、新分野として、パン教室開業をお考えの方向けのカリキュラムの準備も進め、「高く跳ぶため深く沈む」一年にしたいと思います。「パン作りに出会えてよかった」という笑顔が、更に増えますように。



みつづか なおき  
**三塚 直樹**さん  
大河原俳句会  
(北船岡地区 75歳)

こうほう文芸に俳句が掲載されると、友人、知人から、「読んだよ」、「がんばっているね」などと励まされながら今日まで作り続けています。昨年の台風19号による豪雨で、自宅が床上1.1mの浸水被害を受け、現在修繕中です。年金生活者にとって予期せぬ出費は痛手です。

今年は、浸水被害にめげず、これまでどおり趣味の山登り、家庭菜園、色えんぴつ画、謡曲などに積極的に取り組みます。そして、思い感じたことを俳句にし、先生のご指導を頂きながら、時には句友と一献交わしながら、楽しく健康で明るい一年にしたいと思います。



かどのも やすひで  
**門間 康之**さん  
槻木中学校3年  
(槻木地区 15歳)

僕は、中学校3年間、文化祭実行委員として活動してきました。昨年は、実行委員長に選ばれ、積極的に活動したので、特に印象に残っています。委員長という仕事は、行事を裏側からサポートする目立たない活動が多く、思った以上に大変でした。文化祭当日が台風19号のため、二日に分けて開催される予想外のことも起こり、その対応など、とても勉強になりました。

今年、僕は高校生になります。高校でも、行事を裏から支える仕事に積極的に取り組んで人の役に立ちたいと思います。抱負を夢で終わらせないために、まず高校受験に合格できるように頑張って勉強に取り組みます。



すがわら れな  
**菅原 伶菜**さん  
仙台大学3年女子サッカー部  
(船岡地区 21歳)

昨年は、課題としていた体力不足を克服すべく、フィジカルトレーナーと改善に取り組んだことで、試合を通して走ることができるようになるなど、自分の成長を感じることができた1年でした。

今年は、最上級生として下級生をしっかりと引っ張り、全日本大学女子サッカー選手権大会で好成績を取めることができるようにチームを鼓舞していきたいです。私自身もレギュラーとしてゴールを決めることができる選手になれるよう努力し、女子プロサッカー選手という目標に向かってがんばっていきます。



ひらま ともこ  
**平間 知子**さん  
柴田町消防団  
(北船岡地区 48歳)

消防団員の任命を受けて、もうすぐ一年になります。男性団員と同じ活動服を着用し、同じ訓練を行います。動作が遅くなってしまうこともあり、まだ男性団員の足元にも及びません。町内外で大きな

被害が発生した昨年の台風19号の時は、消防団員としてまだまだ未熟であると感じました。

今年は、早く一人前の消防団員として認められるよう訓練に励み、女性団員としてサポート体制の構築を図っていきたくと思っています。



あらい すみれ  
**荒井 すみれ**さん  
西住小学校6年  
(西住地区 12歳)

小学校生活も残り3カ月となりました。その残された3カ月、私は勉強に力を入れたいと思っています。大河原中学校へ進学すると、新しい交友関係を作るのに苦労するはずなので、勉強でつまづいている場合ではないと先生が言っていました。私は、自分自身で

は勉強に関してはあまり心配してはいませんでしたが、それを聞いてちょっと不安になりました。苦手意識のある教科をずっと苦手なままにしてきた感があったからです。

残りの3カ月で苦手意識を克服し、中学校生活を楽しめるようにがんばりたいです。

# メタセコイアの奇跡！ 光り輝け槻木駅 2019

日 12月7日(土)～1月12日(日)

所 JR槻木駅



## 光る冬イルミネーション







あたたかい光の輝きに包まれて しば

## とみざわ希望の光イルミネーション

日 11月30日(土)

~ 1月10日(金)

所 富沢集会所



# まちかど NEWS



岡山哲也さん（左）と生野和彦さん（右）



中山和也さん（中央左）と川崎俊明さん（中央右）

## 災害応援ありがとうございました

12月3日（火）から13日（金）にかけて、北九州市役所より4人の職員が派遣され、台風19号に關わる災害報告書の作成や、災害ごみ処理のための事務手続きを行っていただきました。

北九州市は平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた経験から、町の災害後の業務に大きく貢献いただきました。

北九州市環境局の川崎俊明係長は、「派遣期間は終了しますが、私たちにできる事があれば、今後も協力させていただきたいと思えます」と話されました。

## 100歳の長寿をお祝い

NEWS

グループホームゆう柴田（剣崎地区）に入所中の鎌田喜七さん（大正8年11月25日生）が満100歳を迎えられました。

施設の方やご家族らに温かく祝福された鎌田さんは、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを述べ、感激していました。

鎌田さんを含め、町で100歳を超えた方は、昨年末現在で11人となります。

いつまでもお元気でいらしてください。



鎌田さんは、一緒に入所している奥様と今も変わらず仲良しです。

広 告

広 告

## 西住地区文化祭

11月9日(土)、10日(日)、西住公民館で「西住地区文化祭」が開催されました。

書道や藤細工、西住小の児童の工作などの展示や西住地区で活躍している団体の活動報告、演芸発表が行われ、地域の皆さんが交流を深める文化祭となりました。

加藤徳雄さん(船岡字山岸)は、「歌が好きで、文化祭では毎回歌っています。文化祭は楽しいので、もつと多くの人に参加してほしいです」と話していました。



子どもたちも元気に踊りを披露していました。

## 第5区防災訓練

11月17日(日)、第5区集会所で防災訓練が行われました。

台風19号による災害が発生して間もないということもあり、参加した約100人の皆さんは、陸上自衛隊船岡駐屯地の第312ダンプ車両中隊の木原小隊長との意見交換会や炊き出し訓練に真剣に取り組んでいました。

高橋五郎区長は、「訓練に参加することで、防災に対する意識を高め、「自助」、「共助」の思いを大切にしてほしい」と話していました。



婦人防火クラブの方の指導でおにぎり作りを体験しました。

## 船岡保育所「たのしいつどい」

11月30日(土)、船岡保育所で発表会「たのしいつどい」が開催されました。

保護者が温かく見守る中、子どもたちは、この日のために練習してきた歌やダンス、劇などを堂々と披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。

齋藤聖徠くん(6歳)は、「オペレッタでやった跳び箱もちゃんと飛べて楽しかったです。緊張しないで上手にできました」と話してくれました。



5歳児クラスは、年長児らしい、手話を交えた歌を披露しました。

広 告

広 告

# オリンピック・パラリンピック・NEWS ムーブメント全国展開事業

12月2日(火)、槻木中学校で、オリンピック、パラリンピックへの関心を高め、夢や希望を育む講演会が、ロンドンとリオデジャネイロオリンピックのウエイトリフティング日本代表、八木かなえ選手を講師に招いて行われました。八木選手は、ご自身の経験から、「自分に向いているものを見つけるためにいろいろなことにチャレンジしてください。目標、夢に向かってがんばることで自信につながります」と話し、生徒へエールを送っていました。



小柄な八木選手がバーベルを軽々と持ち上げる姿に驚いていました。



子どもたちは、絵札に楽しく色を塗っていました。

# かるたづくり

NEWS

12月7日(土)、船迫生涯学習センターで本船迫子ども会の子どもたちが、かるたの絵札づくりを行いました。これは、1月19日(日)に行われる船迫地区子ども会育成会主催のかるたとり大会に使うもので、船迫地区の各子ども会が作成しています。安藤日愛さん(6年生)は、「低学年から高学年まで協力して作ることができました。大会当日は、自分が作ったかるたをぜひ取りたいです」と話してくれました。

# 第7回柴田町チャリティー東西対抗歌祭

NEWS

12月8日(日)、船岡・三名生・西住地区(東)と槻木・船迫地区(西)に分かれ、歌謡や舞踊を競う、「柴田町チャリティー東西対抗歌祭」が槻木生涯学習センターで開催されました。参加者が自慢の歌や踊りを披露すると、満員となった会場から、たくさん拍手が送られていました。小学生として初めて出場し、特別賞を受賞した大久幸賀くん(2年生)は、「歌うことが好きなので、自分で出ようと決めました。緊張したけど、楽しく歌うことができました」と話していました。



東西それぞれ32組が参加し、今回は、西組が勝利しました。

広 告

広 告



# 健康情報クリップ

なるほど!

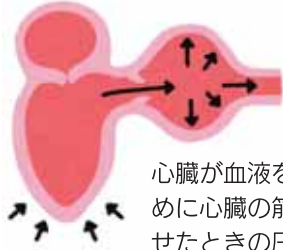
みんなの健康ライフ シリーズ63

☎健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第63回のテーマは「血圧について」です。

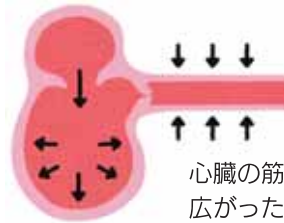
血圧とは、全身に血液が送り出されるときに、血管の壁にかかる圧力のことをいいます。

収縮期血圧（上の血圧）



心臓が血液を送り出すために心臓の筋肉を収縮させたときの圧力

拡張期血圧（下の血圧）



心臓の筋肉が最も広がったときの圧力

皆さんはご自分の血圧値をご存知でしょうか。高血圧は、自覚症状がほとんどないため、見過ごされたり、放置されたりして重症化することもあります。また、血管に大きな負担がかかり、動脈硬化を進行させ、「脳卒中」や「心臓病」を引き起こす可能性が高まります。

### <正常血圧(mmHg)>

	収縮期血圧		拡張期血圧
家庭での血圧	135 未満	かつ	85 未満
病院での血圧	140 未満	かつ	90 未満

※血圧は、1日の中でも変動しています。日々の血圧の変化をつかむためにも、概ね同じ時刻に測りましょう。

※病院での測定は、緊張し本来の数値より高くなってしまふことなどから、家庭での血圧測定の方が、信頼性が高いとされています。

### 食塩の摂りすぎは高血圧の原因になります。

1日の食塩摂取基準（18歳以上）は、男性が8.0g未満、女性が7.0g未満ですが、宮城県は食塩摂取量が多いです。

宮城県民の1日の食塩摂取量（20歳以上） 出典：平成28年国民健康・栄養調査

男性 全国ワースト 1位（平均値 11.9g/日） 女性 全国ワースト 13位（平均値 9.4g/日）

### 保健師からの高血圧予防のためのアドバイス

- めん類の汁は、全部残せば2～3g減塩できるので残すようにしましょう。
- 味にアクセントをつける香辛料（コショウ、七味など）や香味野菜（生姜など）、果物（柑橘類）の酸味を利用すると薄味でもおいしく食べることができます。
- 具だくさんのみそ汁にすることで、汁の量を減らし減塩できます。
- 味付けを確かめて、むやみに調味料を使わないようにしましょう。
- 塩分が多い漬物・加工食品は控えましょう。

広 告

広 告



# 新行政区長を紹介します



第8区行政区長

あべ おさむ  
阿部 攻

令和元年 12月1日付けで、第8区行政区長に辞令が交付されました。

(任期 令和4年3月31日まで)

## こうほう 文芸

### 短歌

寒い朝センサー鳴りて玄関に  
新聞届くや心で感謝  
船岡 可沼 妙子

臘梅は可憐に黄花咲き初めて  
放つ香りの春待つ匂い  
槻木 平間 三郎

秋日和美女等集い湯けむりの宿  
若さの秘訣卓球にあり  
西船迫 下浦 智子

世の中はつらく悲しいこと多く  
重く切ない長崎旅行  
四日市場 鳥井崎七老

風花という美しい季語ありて  
その訪れを楽しみに待ち  
船岡 沢田 順子

着膨れて我身重たし今朝の庭  
落ち葉掃く手に弱き冬蠅  
船岡 伊藤タイ子

木枯らしに負けず帰った園児孫  
「ただ今」よりもすぐコタツムリ  
本船迫 森田 真六

### 川柳

コンサート幼子あやし席を立つ  
西船迫 安ヶ平良三

初雪を肌で感じて身が締まる  
西船迫 H・G

注意カスマホ楽しや視力落ち  
槻木 村上 紫寿

バック旅見物そこそこまた食った  
四日市場 鳥井崎七老

退院し白衣の天使みなやさし  
槻木 加藤 マサ

冬の庭葉ボタン・パンジーきれい咲く  
船岡 阿部美代子

寒さゆえ歩く速さも小走りに  
船岡 小林 夢子

### 俳句

枯菊に残れる色の哀れなる  
船岡 可沼 妙子

日の重さのせうすらひのまはりけり  
石母田星人

おけさ節高き調子や鯉起し  
鎌形 清司

探梅や生命線の濃き人と  
齋藤 善則

雪雲に声なき声の蔵王山かな  
鈴木 三山

探梅や一日暮れゆく潮だまり  
鈴木 清子

一月のタカラジエヌの脹脛  
鈴木 幸子

行く年の入日残せし雲一片  
相馬カツオ

立春の空まつさらに雨上がる  
峠 三枝子

探梅や名所の庭に巨石あり  
吉田 啓子

打掛に水貫ひたる菊人形  
西船迫 佐藤 厚子

里山も紅葉も嬉し友の顔  
西船迫 安ヶ平奈津枝

暗き道暖房待つ家へ児童急ぐ  
船岡 安藤 節子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで1月15日(水)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

# 広 告

# 広 告



## 地域に貢献するボランティア活動

本校では、「志教育」、「道徳教育」の推進を重点目標の一つに掲げ、その取り組みとして、有志・部活動単位での清掃活動をはじめとするボランティア活動を行っています。また、「船中ボランティアセンター」を設置し、それに登録した生徒が、柴田町社会福祉協議会や地域の方々の協力をいただきながら自主的に活動しています。

昨年の桜まつり前に行われた町民有志による白石川河川敷の清掃活動には、本校生徒も約230人が参加し、さくらマラソンにも大会ボランティアとして関わり、大会を盛り上げました。

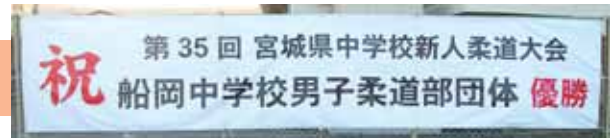


柴田大橋付近の白石川河川敷で行われた清掃と植栽

## 「船中魂」を胸に 中総体、新人大会での活躍

昨年6月に行われた柴田郡中学校総合体育大会では、団体5種目で優勝、団体6種目が県大会出場を果たし、個人でも陸上、水泳を合わせて46人が県大会に出場しました。さらに郡新人大会では、団体4種目、個人でも7人と2パートが優勝するなど、「船中魂」を胸に最後まであきらめることなく全力でプレイしました。また、柔道部男子は、県新人大会において見事、団体優勝を果たしました。

今年5月の郡中総体、夏の県大会、その後の上位大会での活躍を目指して練習を頑張っています。



郡陸上競技大会では、船中一丸となって応援

## お互いに認め合える 小学校との連携

生徒会役員による船岡小学校、東船岡小学校でのあいさつ運動は、3年目となり、昨年度から、青少年のための柴田町民会議の皆さんにもご支援をいただいています。今年度は、小学生と一緒に活動へと広がり、「おはようございます」の元気なあいさつが飛び交いました。

また、昨年11月には、東船岡小学校の音楽集会に本校吹奏学部が参加し、合唱、ハンドベル、金管楽器の演奏を披露しました。手拍子や大きな拍手で和やかな交流の機会となりました。



船岡小学校で行われた、児童へのあいさつ運動

## 仙台大学との連携

教員を志す仙台大学生による部活動指導などのサポート事業「未来先生」で、昨年はサッカー部、陸上部、バスケットボール部、柔道部を指導していただきました。本校柔道部の活躍は、仙台大学との連携があつてのことです。

昨年7月には、新体操への関心をもってもらい、オリンピックの機運を高めることを目的に仙台大学新体操部の演技披露と交流会を本校体育館で開催しました。種目毎の演技披露や、代表生徒による体験など、楽しい一時を過ごしました。



仙台大学新体操部員からリボンなどの使い方を教わり演技を体験

〔船岡中学校長 福田 功〕

広 告

広 告

## 受け継がれてきた技術を 身につけていきたい

東北大江工業株式会社

小野 祐輔さん (27歳)

今回は、ステンレス鋼材を使った産業機器を製造している東北大江工業株式会社の小野祐輔さんを紹介いたします。



元自衛官の小野さんは、3年前に入社し、主にタンクや化学薬品を貯蔵するサイロの加工・組み立てなどを担当しています。現在は上司に付きながら、一つずつ仕事を学んでいる段階だそうです。

「タンクのような円筒状の容器を作るには、ベンディングロールと呼ばれる3本のロールを三角形状に組み合わせた機械にステンレスの鋼板を通して、曲げていく加工を施します。最後に両端が合わさるように仕上げるのが難しいところですね」と小野さんは話します。

工場内では大型の機械で作業を行うため、「安全面については、厳しく指導いただいています。クレーンを使い、大型の鋼材を数人がかりで運ぶ作業などでは、互いの声がけを怠ると、事故やけがに繋がりがかねません。常にコミュニケーションを取りながら作業を進めていくことを心掛けています」と話してくれました。

また、小野さんは災害などの有事の際

には現職の自衛官と同様に活動を行う、即応予備自衛官としても活躍しています。昨年は台風19号の被災地で2週間ほど物資の搬入などを行ってきたそうです。「招集以外に、年間30日の訓練にも積極的に参加させてもらっています。全ては会社の理解があつてこそ。これからも即応予備自衛官として社会に貢献していきたいと思えます」と話してくれました。

「少しずつ自分で造れる物が増えていくことに喜びを感じるようになりました。今は技術を身につけることで一杯ですが、指導いただいている上司を目標に努力していきたいと思えます」と小野さんが理想とする上司は、この「思いを胸に」の第一回目(平成25年10月)に取材を受けていただいた安藤さんでした。当時、技術を継承していきたいと話していました。その思いが確かに受け継がれていると感じました。これからも頑張ってください。



ベンディングロールでステンレス鋼板の加工を行う小野さん



東北大江工業株式会社  
柴田町大字船岡字大森1-1  
TEL54-1360

昭和40年に大江工業株式会社より分離独立し、東北大江工業株式会社として設立。ステンレス鋼や特殊鋼を用いた真空・压力容器、機器などの設計製作を手掛ける。社員の採用では即応予備自衛官の積極的な受け入れを行っている。従業員84人。

人口と世帯数  
(令和元年12月1日現在)



37,632人  
(前月比18人減)



18,770人  
(前月比10人減)



18,862人  
(前月比8人減)



15,851世帯  
(前月比6世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。